

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	03	164040	園芸品目経営安定事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	1	農業生産の支援			
目的	青果物の価格安定					
対象	事業の対象となる野菜生産者					
意図	野菜生産者の再生産所得の確保を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○青果物等価格安定事業負担金 対象青果物（レタス、えだまめ、アスパラガス、生しいたけ等）の平均販売価格が保証基準額を下回った場合に、生産者へ補給金を交付する事業の負担金						
○園芸品目経営安定対策事業負担金 対象青果物（きゅうり、トマト、ピーマン、ねぎ等）の価格が下落し、青果物等価格安定事業が発動され、かつ一定要件を満たした場合に、生産者へ補給金を交付する事業の負担金						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		事業協力・協定		
		○ 補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 市内の園芸品目出荷者数	人		計画	1,900	1,900	
			実績	1,670	1,475	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 青果物出荷販売額(花巻農協)	千円		目標	1,908,910	1,908,910	
			実績	2,059,247	1,979,016	
② 野菜販売数量	箱		目標	650,133	650,133	
			実績	602,905	561,274	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
定植期の低温、多雨、日照不足等の影響により全国的に出荷量が少なく品薄となり、高値で取引されたため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	野菜生産者が意欲を持って生産に励むためには、セーフティネットである価格補填制度が必要であるため。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	各種事業の推進による野菜の生産量増加及び品質向上を図ることにより、販売額・販売数量ともに増加の余地があるため。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の運用状況により負担割合が決定しているため削減できない。
	事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	国・県・市・農業団体・生産者の負担により事業が運用されており、受益者負担と公的負担の均衡がとれているため。
	受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
園芸農家の再生産所得確保のために基金を造成し、予測し得ない気候の変化等に伴う出荷数量や販売単価の下落に対応することで、安定した農業経営の継続に貢献した。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	06	01	03	164040	園芸品目経営安定事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,467	3,629		162
財源内訳	国・県				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源	3,467	3,629	0	162

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

収益性の高い農畜産物の生産を進める

事業開始の背景・経緯

国、県が実施する園芸品目の価格安定制度の補完事業として旧市町ごとに実施していたが、平成19年度の国の制度見直しにより減額された部分を中心に事業を再構築し、園芸農家の所得確保と園芸産地の維持を図るために実施している。

事業概要

○青果物等価格安定事業負担金
対象青果物（レタス、えだまめ、アスパラガス、生しいたけ等）の平均販売価格が保証基準額を下回った場合に、生産者へ補給金を交付する事業の負担金

○園芸品目経営安定対策事業負担金
対象青果物（きゅうり、トマト、ピーマン、ねぎ等）の価格が下落し、青果物等価格安定事業が発動され、かつ一定要件を満たした場合に、生産者へ補給金を交付する事業の負担金

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

青果物の価格動向を注視する必要がある。

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 安部慎司 内線 6-293

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○園芸品目経営安定対策事業負担金 2,323,497円

■園芸品目経営安定対策事業の概要
花巻市600万円（40%）、花巻農協600万円（40%）、生産者300万円（20%）をそれぞれ拠出し、基金を造成する。

【基金造成額】 (単位：千円)

総額	市	農協	生産者
15,000	6,000	6,000	3,000

【対象青果物】
花巻農協に販売委託するきゅうり、ピーマン、枝豆、アスパラガス、ほうれんそう、レタス、トマト、ミニトマト、キャベツ、なす、ブロッコリー、にら、さやいんげん、さやえんどう、生しいたけ

【補給金の交付】
国・県が実施する青果物等価格安定事業が発動（価格下落時）され、かつ一定要件を満たした場合に生産者に対して補給金を交付する。

- 1 青果物等価格安定事業の対象となった場合、優先順位を下記①②③の順とする。
① 対象青果物の価格急落により、青果物等価格安定事業の対象となり、補給金の交付があった場合
⇒産地区分Ⅰ（90%）との差額を補填
② 対象青果物の価格急落により、青果物等価格安定事業の対象となり、申込数量以上に出荷実績があった場合
⇒単価減との差額を交付
③ 対象青果物の価格急落により、青果物等価格安定事業の対象となり、かつ花巻農協の平均販売価格が国及び県の販売価格より下回った場合
⇒上記の差額を補填
- 2 天候不良等により、花巻農協が設定した対象青果物の値決め（契約）販売価格と一週間の通常販売平均価格との間に130%以上の格差が発生した場合
⇒上記の差額の90%を補填
- 3 販売価格が出荷経費を下回った場合、補填する。
⇒対策委員会長の決裁にて決定
- 4 補給金の交付が必要と認められた時は、対策委員会で保証基準額を定め、国・県の保証基準額等の差額を交付する。

平成 28 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	06	01	03	164040	園芸品目経営安定事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【基金積立額の推移(前年度取崩額と同額を翌年度に積立)】

	計	花巻市	花巻農協	生産者
負担	-	40%	40%	20%
H20	2,730	1,092	1,092	546
H21	13,500	5,400	5,400	2,700
H22	15,000	6,000	6,000	3,000
H23	7,205	2,882	2,882	1,441
H24	10,905	4,362	4,362	2,181
H25	15,000	6,000	6,000	3,000
H26	6,612	2,645	2,645	1,322
H27	6,743	2,697	2,697	1,349
H28	5,808	2,323	2,323	1,162

○青果物等価格安定事業負担金 1,305,387円

■青果物等価格安定事業の概要

国・県・市町村・生産者がそれぞれ拠出した資金を財源として、野菜の平均販売価格が保証基準額を下回った場合にその差額を補填し、生産者の経営に及ぼす影響を緩和するとともに、青果物等の生産と価格の安定を図ることを目的とした事業です。

○指定価格安定対策事業

【対象青果物】

レタス、きゅうり、ねぎ、ピーマン

*事業資金造成=国、県、生産者

○特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

【対象青果物】

えだまめ、アスパラガス

【資金造成(一般資金部分)】

機構	県	市	農業団体	生産者
助成分	(30%)	(20%)	(20%)	(30%)

1/3

(1/2)

2/3

(1/2)

※アスパラガス
輸入品との競合が懸念されるため。

【資金造成(特別資金部分)】

県	市	農業団体	生産者
(30%)	(20%)	(20%)	(30%)

【補給金の交付(一般資金部分)】

対象青果物の平均販売価格が、保証基準額を下回った場合に、最低基準額を限度に交付
(保証基準額-平均販売価格)×0.8×交付対象数量=一般補給金

【補給金の交付(特別資金部分)】

対象青果物の平均販売価格が、特別保証基準額を下回った場合に、保証基準額を限度に交付
(特別保証基準額-平均販売価格)×0.8×交付対象数量=特別補給金

○県単青果物等価格安定事業

【対象青果物】

えだまめ、アスパラガス、かぼちゃ、みつば、ばれいしょ、たまねぎ、ぶどう、にら、はくさい、いちご、すいか、さやいんげん、りんどう、小菊、パンジー

【資金造成(一般負担金・特別負担金部分)】

県	市	農業団体	生産者
(30%)	(20%)	(20%)	(30%)

【補給金の交付(一般負担金部分)】

対象青果物の平均販売価格が、保証基準額を下回った場合に、中間基準額を限度に交付
(保証基準額-平均販売価格)×0.8×交付対象数量=一般補給金

【補給金の交付(特別負担金部分)】

対象青果物の平均販売価格が、中間基準額を下回った場合に、最低基準額を限度に交付
(中間基準額-平均販売価格)×0.8×交付対象数量=特別補給金

○花巻市の特別業務資金と負担金の推移(H25~27)

	H26	H27	H28	備考
期首残高	0	0	0	前年度からの繰り越し分
当期増加額	555,045	928,498	202,719	当該年度の事業の残額等
特別業務資金計	555,045	928,498	202,719	期首残高と当期増加額計
充当額	555,045	928,498	202,719	
残額	0	0	0	
負担金額	44,406	771,176	1,305,387	